

# もも・ネクタリン特報

H28. 8.12 No.11  
J A 中野市営農センター  
J A 中野市りんご・もも部会

- \* 害虫対策として、通常防除に殺虫剤『ハチハチフロアブル』を追加しております。(予約価格対応)
- \* 除袋間近な場合は、除袋後に散布を実施する
- \* 毒物・劇物を購入の際は、印鑑をご持参ください。

もも

## 第12回 定期防除

散布時期：前回散布から15日以内 (8月20日～8月30日頃)

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	20ml	
ベルコートフロアブル	50ml	(前日、3回)
劇ハチハチフロアブル	50ml	(前日、2回)

散布日	8月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類、(アザミウマ類)  
10a 当り散布量：600ℓ

### 【注意事項】

- ① シンクイムシ類の発生が心配される場合は、ハチハチフロアブルに代えてアーデントフロアブルの2,000倍(前日、3回)を使用する。

ネクタリン

## 第12回 定期防除

散布時期：前回散布から15日以内 (8月20日～8月30日頃)

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	20ml	
ベルコートフロアブル	50ml	(前日、2回)
劇ハチハチフロアブル	50ml	(前日、2回)

散布日	8月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類、(アザミウマ類)  
10a 当り散布量：600ℓ

### 【注意事項】

- ① シンクイムシ類の発生が心配される場合は、ハチハチフロアブルに代えてアーデントフロアブルの2,000倍(前日、3回)を使用する。

果実腐敗病対策・・・ もも・ネクタリン特報No.9をご覧ください。

裏面には、生育情報と除袋目安が掲載されております。

現状の生育は昨年よりも5～7日程度早い状況です。除袋・反射マルチ・葉摘み等の管理作業は、遅れることのないように進めましょう。

## 1. 今後の収穫開始予想および除袋日目安について（8/11現在）昨年比7日早い成熟を想定

\*熟度の進み具合に注意し早めの着色管理を実施しましょう。

品 種	収穫開始予想		除袋日 目安	
	南部	北部	南部	北部
黄貴妃（無着色）	8/30	9/1	—	—
選抜白根白桃（岩戸系）	9/3	9/5	8/20までに	8/21までに
在来系白根白桃	9/6	9/8	8/22までに	8/24までに
ゴールドエンピーチ	9/11	9/13	8/28までに	8/30までに
秀峰（ネクタリン）	8/30	9/1	8/16までに	8/18までに

## 2. ハダニ類 防除対策

- ★ 真夏の高温により、ハダニ類の発生密度が高まります。ハダニ類の多発が心配される場合は、下記の殺ダニ剤から選択して散布を実施しましょう。
- ★ 通常散布より散布量を増やし、死角のない散布を心掛けましょう。
- ★ 殺ダニ剤散布による防除効果を高めるため、散布3日前を目安に下草刈りを実施しましょう。

農薬名	水100ℓ 当り 使用量	収穫前規制、使用回数	
		もも	ネクタリン
コロマイト乳剤	100ml	収穫7日前まで、1回以内	収穫7日前まで、1回以内
カネマイトフロアブル	100ml	収穫7日前まで、1回以内	収穫3日前まで、1回以内
ダニゲッターフロアブル	50ml	収穫前日まで、1回以内	収穫前日まで、1回以内

\*上記は、全て年間使用回数が1回までとなっています。使用回数に注意しましょう。

\*ダニゲッターフロアブルは、開花期の水稻にかかると不稔等の薬害が生じる恐れがあるため、飛散しない。

## 3. 少雨乾燥対策

◎土壌乾燥対策として、7日程度降雨がない場合は『かん水』を実施する。

◎敷き草などによるマルチで、土壌乾燥防止に努める。

### 収穫期を迎えている品種の場合は

品質向上のため、『かん水』は原則として収穫7日前までとする。